

# Book Review

## Dr. 弘岡に訊く臨床的ペリオ講座 Special Issue 歯周病とインプラント周囲病変の 患者説明ブック

チェアサイドでそのまま使えるカード付

弘岡秀明・佐藤博久・Giovanni Serino 著



Reviewer

古賀剛人 Taketo Koga  
(千葉県・古賀テクノガーデン歯科)

A4 判変, 64 頁  
カラー  
定価 (本体 4,000 円+税)  
医歯薬出版刊



スウェーデン・デンタル・センターの弘岡先生が、『Dr. 弘岡に訊く 臨床的ペリオ講座』シリーズの新刊を上梓された。

弘岡先生のイエテボリ大学の同級生で、インプラント周囲病変に関する論文を多く発表されている Serino 先生が執筆陣に加わっていることから、インプラント周囲病変のエビデンスを解説した書籍かと思いきや、患者説明用の本だという。

本を開くと、チェアサイドで患者説明に使えるカードが 12 ページも付録として挟まっていることに、まず驚いた。

歯周病とインプラント周囲病変の病態や治療の方法などが、写真やイラストを使ってとてもわかりやすく示されていて、このカードを見てもらうだけでも有効な患者教育ができそうである(購買者には、カードの PDF データがダウンロードできるサービスもあるそうだ)。

いかに素晴らしいテクニックをもつ歯科医師が治療したとしても、歯周病やインプラント周囲病変は、患者のコンプライアンスなしに良好な予後は望めない。

特に、インプラント周囲病変は新しい疾患であるだけに、弘岡先生も Serino 先生も、歯科医療従事者だけでなく患者に向けた情報発信の重要性を強く感じていたとのことである。

患者のセルフケアを促すには、歯周病やインプラント周囲病変についての専門的な知識を正確にわかりやすく視覚的に伝えられるツールが必要という著者らの共通認識から、このユニークな本のアイデアが生まれたようだ。

本書は付録のカードだけでなく、書籍本体にも随所に工夫が散りばめられている。

各項目は、原則的に表裏の 2 ページで構成され、表のページには、患者に説明する内容や、説明を補足するような写真・図が入っている。平易なわ

かりやすい文章なので、そのまま患者に読んでもらってもいいかもしれない。

一方、裏のページには、患者説明を行うスタッフ向けに、バイオロジーやエビデンスに根ざした解説、臨床に役立つ知識がコンパクトにまとめられている。

内容も、歯周病とインプラント周囲病変の説明から、治療の方法、サポータティブセラピー、解剖学的・疫学的な知識まで幅広く網羅されているので、スタッフ教育のテキストにも適している。ベテランスタッフにも、知識の深化と整理、確認に役立つだろう。さっそく、筆者のオフィスでは院内の抄読会に使うことにした。

このように、本書はさまざまな使い方ができる点でも面白い。一見、平易に感じられるが、注意深く内容を絞り込み、練り上げられた快作といえよう。

本書を患者説明やスタッフ教育に活用し、オフィスのレベルアップに役立てることを勧めたい。